# グローバル人材育成教育学会
THE JAPAN ASSOCIATION FOR GLOBAL COMPETENCY EDUCATION

URL https://www.j-agce.org
発行人　アーナンダ　クマーラ
ニューズレター　第 54 号　　2025 年 12 月 20 日発行

今回は、
**(1) 支部大会開催の案内**
**(2) 全国大会開催報告**
**(3) 論文賞受賞のお知らせ**
**(4) 編集委員会報告**
**(5) 理事会報告**
についてお知らせいたします。

## (1) 【支部大会開催の案内】

### ■ 2025 年度 中部・関西 合同支部大会（第 9 回中部支部大会/第 10 回関西支部大会）開催のお知らせ

**開催日：**2026 年 3 月 1 日（日）
**場所：**金沢工業大学 扇が丘キャンパス 23 号館 2 階（石川県野々市市扇が丘 7-1）
https://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/ogigaoka.html
**テーマ：**ＡＩ時代のグローバル人材育成
－ Global Competence Education in the AI Era－
**概要：**
・シンポジウム①「高等学校におけるグローバル・コンピテンシー育成:WWL 校の取り組みとその成果」モデレーター：服部 孝彦（大妻女子大学名誉教授、文部科学省 WWL 企画評価会議委員）
・シンポジウム②「グローバル人材教育の担い手養成：学校園・地域社会・AI」（仮題）服部圭子（近畿大学）・日高俊夫（武庫川女子大学）・杉本孝美（桃山学院大学）他
・研究発表（一般発表 / 学生発表）
・賛助会員によるプレゼンテーション
・情報交換会
※詳細については学会 HP をご覧ください（随時更新）。

### ■ 第 10 回九州支部大会開催のお知らせ

**開催日：**2026 年 3 月 7 日（土）
**会場：**佐賀女子短期大学
※詳細は決まり次第お知らせいたします。

## (2) 【全国大会開催報告】

2025 年 12 月 13 日（土）・14 日（日）の 2 日間、戸板女子短期大学 三田キャンパスにおいて、第 13 回全国大会が開催されました。本大会は、「グローバル人材育成の新潮流：変化する教育環境と多様性の未来」を大会テーマに掲げ、急速に変化する国際社会と教育環境の中で、今後のグローバル人材育成教育の方向性を多角的に議論する有意義な機会となりました。

大会には、大学教員、初等・中等教育教員、学生、企業・団体関係者など、2 日間で延べ 300 人規模が全国各地から参加する盛会となりました。

2 日目には、ジャーナリストの池上彰氏による基調講演「グローバル人材の育て方～世界情勢と日本の若者の今を考える～」が行われました。グローバル化の進展と反グローバリズムが併存する現代社会を背景に、日本の若者に求められる視点や姿勢について、具体的な国際情勢を踏まえた示唆に富む講演がなされました。

本大会では、3 つのシンポジウムが開催されました。シンポジウム 1「アジアに広がる留学の道 : 短期留学の可能性と課題」では、アジア諸国への留学動向を踏まえ、短期留学の教育的意義や課題について産・官・学の視点から議論が行われました。シンポジウム 2「多様な言語・文化的背景を持つ子どもたちと教育問題」では、外国人児童生徒の増加という日本社会の現状を背景に、国の教育行政の現場からの視点を交えながら、言語・文化的多様性を包摂する教育の在り方について議論が深められました。シンポジウム 3「中等教育段階での国際的な学びと高等教育への接続」では、中等教育における国際的な学びをいかに高等教育へとつなげるかという観点から意見交換が行われました。

また、2 つのラウンドテーブル「グローバル人材育成に関する科研課題と共同研究の可能性」および「国際教育プログラムの効果測定手法の多様化と今後の展開」が開催され、活発な議論が交わされました。

一般発表およびポスター発表では、言語教育、国際教育プログラム評価、国際協働プロジェクト、教育心理・地域連携など、多様なテーマにおける研究成果が報告されました。あわせて、学生によるポスター発表・プレゼンテーションや、スリランカをはじめとする海外学生とのオンライン交流も行われました。

さらに、情報交換会および懇親会では、参加者が分野や立場を越えて交流し、相互理解と親睦を深めました。

ご参加くださった皆様、賛助会員の皆様、ならびに大会の企画・準備・運営にご尽力いただいた会場校関係者および大会実行委員の皆様に、心より御礼申し上げます。

**(3) 【論文賞受賞のお知らせ】**

本学会では、第 12 巻第 1 号に掲載された若生深雪会員の研究論文「中学生のオンライン異文化間交流からの教育的効果（クリティカルシンキングに着目して）」を本年度の論文賞に選出し、その授賞式を全国大会にて執り行いました。

受賞にあたり、若生会員より次のようなコメントをいただきました。

**【受賞者コメント】**

本研究では、異文化間教育の成果として位置づけられる異文化間能力、とりわけその中核要素であるクリティカルシンキングに焦点を当て、クリティカルシンキングが異文化間能力の発達をどのように媒介するのかを実証的に検討いたしました。中学生段階でこそ、異文化との対話や批判的思考を通じて、自他や世界を捉え直す経験が必要であることが、改めて示唆されたと感じております。本論文は、博士論文の一部を取りまとめた途中経過の報告であり、未完成な部分も多々ございますが、それにもかかわらず、本研究を通じて中学生段階における異文化間教育の必要性を一定程度示すことができた点を大変うれしく思っております。

近年、義務教育から高等教育まで一貫したグロ

ーバル教育の重要性が、教育指針や社会的要請として高まっています。しかし、中学生を対象とした異文化間教育に関する研究は、依然として限定的であるのが現状です。今後は、博士論文で得られた成果を広く公開し、基礎研究のいっそうの充実を図るとともに、実践的な指導法の開発や後続研究の基盤づくりに貢献していきたいと考えております。

**(4)【編集委員会報告】**

学会誌 14 巻第 1 号の投稿期間は、2026 年 1 月 1 日から 1 月 31 日です。2025 年 8 月に投稿規程が改訂されていますので、投稿の際には投稿規程をご確認ください。多くの会員のご投稿をお待ちしています。また、学会誌第 13 巻第 2 号は、2026 年 3 月末の発行を予定しています。

**(5)【理事会報告】**

理事会では、原則として毎月 1 回、メールによる審議を行っています。

**2025 年度 10 月定例理事会**

議案 1. 栄誉会員承認について 承認されました

議案 2. 新規入会希望者について 承認されました

議案 3. 退会希望者について 承認されました

**2025 年度 11 月定例理事会**

議案 1. 新規入会希望者について 承認されました

議案 2. 退会希望者について 承認されました

＜お問い合わせ＞

グローバル人材育成教育学会管理事務局

https://j-agce.org/contact_form/

【文責】アーナンダ　クマーラ

【編集】天木勇樹